

4年：算数科「平行四辺形とひし形」

1 見本となるひし形を作図する。

① スプライト(教師用)を選択し、



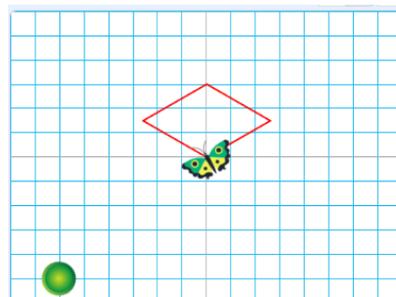
をクリックして移動させる。



② **1** キーが押されたとき をクリックする。



または、キーボードの「1」を押すとひし形を作図できる。



2 正方形のプログラムを確認し、作図する。

① スプライト (児童用) を選択する。

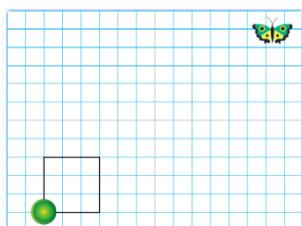


② 正方形のプログラムの数値を確認する。

③ **a** キーが押されたとき をクリックする。



または、キーボードの「a」を押すと正方形を作図できる。



赤枠は、**辺の長さ**のプログラムです。正方形なので、どれも同じ数値です。

黒枠は、**回転する角度**のプログラムです。正方形なので、全て進行方向に対して 90 度になります。

4 ひし形のプログラムを考える。

① ひし形のスタートの位置 をクリックして、ボールを移動させる。

② ひし形のプログラムを考える。

(赤の部分の数値を変更する。)

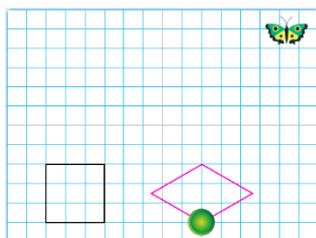
※ 線をすべて消す をクリック

すると線を消すことができる。

③ グループで話し合う。

④ ひし形のプログラムをまとめる。

(ひし形の性質をまとめる。)



辺の長さの数値は変えませんが、

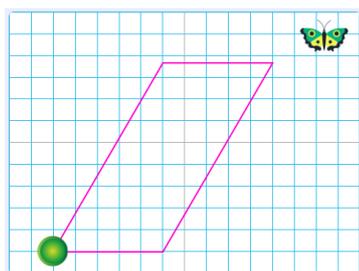
進行方向に対して、回転する角度 (外角) になります。ひし形の内角ではありません。



正方形のプログラムになっています。向かい合う角の数値を同じにします。

5 平行四辺形のプログラムを考える。

平行四辺形のプログラムを考えて、作図する。



作図ができたなら、平行四辺形のプログラムをまとめる。

(平行四辺形の性質をまとめる。)

平行四辺形書き始めのブロックに変更します。



向かい合う辺と角度の部分のプログラムを同じ数値にします。